

ホーム > ニュース >

エコホーの企業訪問 (55) BLUE Symphony (ブルーシンフォニー) X R、A I、最先端デジタル技術で真の課題解決へ

大阪支社発 企業

エコホーの企業訪問 (55) BLUE Symphony (ブルーシンフォニー) X R、A I、最先端デジタル技術で真の課題解決へ

2026/06/24 掲載 有料会員記事

記事を保存 記事を印刷 メールで共有



まちづくり、インフラ整備、防災を「見える化」で支援

大阪発のスタートアップ・BLUE Symphony (小谷隆文代表取締役) は、X R (現実世界と仮想世界を融合し新体験を創造する技術) や A I、デジタルツイン (現実世界のデータを仮想空間で再現する概念) などの先端技術で社会や顧客の課題解決を図るソリューションカンパニー。代表作「L A S K (ラスク)」は、風力発電事業における風車や鉄塔の立地検討・景観確認、意思決定にかかる時間とコストの削減を望む事業者の声から生まれた商品で、誰もが簡単かつ短時間に構造物の完成後の姿を「見える化」できる X R 可視化プラットフォームだ。今回は都市開発、送配電設備、通信塔、橋梁、上下水道関連施設の整備計画から、災害時の避難誘導、防災訓練などレジリエンス向上まで広がる L A S K の可能性と、社会ニーズに技術で応える同社のスタンスを小谷代表に詳しく聞いた。

「社会に貢献する事業を」との志を胸に起業家の道を選んだ小谷代表。その原点は、戦地から大阪に戻ったのち「まちづくり」と「治水・下水整備」で戦後復興に貢献した両親の背中を見て育ったことにある。

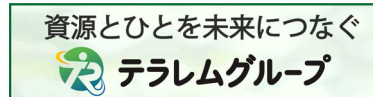
「8年で技術、15年で経営を学び独立する」のロードマップを描きパナソニックに入社。世界初となる半導体の開発・量産化や欧州の国際研究機関での業務、3D映像の国際標準化など技術畑を歩んだのち、経営企画へ。当時1兆円規模の売り上げを誇った薄型テレビ事業部に配属されるも、リーマンショックでその業績は暗転。2200億円超の赤字を抱える苦境の中、「V字回復へのプロセスと新事業創出の実務を体得した」。そのほか11を超える新規事業立ち上げや国際的プロジェクトにも携わり、組織・現場・社会の動かし方も学んだ。

研究開発と経営企画双方の経験を持って独立し、コンサルティング業で基盤を整えながら2022年4月、BLUE Symphonyを創設。「デジタルとアナログの融合」を意味する社名には、同社のビジョンが表れている。万博でも使われた3D映像による展示や演出、A Iによる経営コンサルツールなど、最先端技術を次々と開発・提供しているが、「大切にしているのは先端技術ありきではなく、真の課題解決につながること」だと小谷代表は語る。

「顧客の困りごとを丹念に聞き出して課題を見極め、最も効果的な技術・仕組み・事業モデルを提供する。時間やコストの削減、省人化、意思決定の迅速化、売上向上など、顧客にとって投資対効果の高い提案を意識している」(小谷代表)。納品先へのアンケート(回答64)でも「期待通り」「期待以上」が88%と同社の課題起点の姿勢は評価に表れている。

そうした考え方を具体化した代表製品が、X R可視化プラットフォーム「L A S K」だ。風力発電事業者の「風車や鉄塔の立地検討・景観確認における時間とコストの削減」ニーズを受けて開発したもので、建設予定の建物や設備の完成後の景観を即座に「見える化」できる。従来の景観シミュレーションやA R等は専門技術者が時間と費用をかけて個別に作るものが大半だが、L A S Kでは誰もが簡単に短時間で、現実とデジタルを融合させた景色が作り出せる。

「まちづくりやインフラ整備では、検討途中で場所や角度を変えたり、住民説明用の見せ方を工夫したりということが頻繁に起こる。そのたびに外注すれば時間もコストも膨大になる。L A S Kでは担当者自身が建物や設備の3Dモデルを簡単に配置し、3D地図、ストリートビュー、現地A Rを一気通貫で使うことができる。3D地図では上空からの俯瞰で全体像が、ストリートビューで



イベント案内 | 一覧 →

(各項目参照)
イベントカレンダー

2026-09-02 (水) 開催/学会
日本太陽エネルギー学会光化学・バイオ...

ら9時間へと効率化。人材リソースの活用幅が増え、付加価値創出にもつながっているという。

C G制作やX R技術の知識がなくても使えるL A S Kは、自治体職員やインフラ事業者、建築・不動産担当者、環境施策担当等、実務者が自らのP C画面上で、まるで地図に模型を置くような簡単な操作で、構造物建築後の世界を確かめ、共有することができる。

「G P Sと独自の位置情報解析技術を組み合わせており、日照シミュレーションを用いて時間ごとの日当たりや影の形や大きさも確認できる。マンション完成後の見え方、都市開発による周辺景観や街並みとの調和、公共施設建設時の住民説明や行政協議、橋梁・上下水道の更生工事・関連設備等、工事前にリアルな可視化ができれば現地確認や資料作成の省力化が図れるものは多い」。道路工事でも工事前の保安設備配置や作業範囲をストリートビュー上で可視化し、自治体等への提出資料を効率化。事前の掘削予定位置の可視化で無駄な掘削や手戻りが減り、工期短縮、交通阻害の低減、税金の有効活用にもつながる。

L A S Kは、平時のみならず防災訓練や避難誘導支援など非常時にも使えるフェーズフリーのツールでもある。津波や浸水、火災など緊急時には注意喚起情報を現地A Rで分かりやすく示し、避難中の地域住民には刻々と変わる状況に応じて避難経路や危険箇所をリアルタイムに示す活用も実証中で、情報を直感的に伝えることも可能だ。

「L A S Kには幅広い用途があり、社会の多様な現場でお役に立てると思う。だがこの製品に留まることなく10年先のトレンドを見据えながら『今の日本に何が必要か』を問い続け、社会課題の解決とより良い社会の実現に向けて前進を続けたい。両親が背中で見せてくれた社会貢献の志を、最先端技術を用いて受け継いでいきたい」



小谷代表 = クリックで拡大 =



本来の景観が簡単に可視化できる「L A S K」 = クリックで拡大 =

2026-08-07（金）開催／大阪府
大気質監視フィルタで探る 見えない微生...

刊行物・書籍のご案内 | 一覧 →

2026/06/17

月刊下水道2026年6月号特集／産官学の内水氾濫対策最前線

新刊

2026/05/20

月刊下水道2026年5月号特集／リダンダンシー時代の管路資器材

新刊

2026/04/15

月刊下水道2026年4月号特集／今そこにある下水道経営の危機

新刊

週間ランキング

- 1** 遺伝研 強酸性温泉藻類が光合成を維持する仕組みを解明 地球環境への適応過程に新知見
- 2** 人事異動 環境省

NTTと三菱マテリアルが新会社「NTTサーキュラスト」で再生材の利用拡大へ IT機器・通信設備の資源循環を一体で推進
- 3** 五洋建設 秋田市沖洋上風車設置工事用のSEP船の備船契約締結
- 4** 三菱電機と千葉工業大学、国産フィジカルAIで協定 共創センター設立し自律ロボット事業化

アーカイブ
ARCHIVE

環境新聞の最新“連載”記事を集約
読みたい情報はここをクリック！

連載 Serialization

環境就職ナビ 2026

エコホーの企業訪問
(54) E M I E L D
(エミールド) サス
テナブル経営を一気
通...

2026/05/27 | 🔒

エコホーの企業訪問
(53) 東洋化工機 湿
潤環境で施工できるラ
イニング工法を展開...

2026/04/22 | 🔒

鴻池組 中高生の探究
学習に協賛 全国大会
上位チームが本社で
「未来」を提案

2026/03/25 | 🔒

出会って学んで環境問
題を克服 グリーン共
創 E X P O 2 0 2 6
「共創」へ産学公...

2026/02/25 | 🔒

環境新聞特別企画 2024年2月28日付
データセンター2024春特集
次世代DCと環境～脱炭素・省エネの最新動向

 **BidNavigator**
入札情報検索プラットフォーム

リスクの転換点を迎え撃つ
次世代につながる危機管理戦略
危機管理カンファレンス2026 春 2026.5.25 10:00 - 29:00 リスクリスク.com

展示会情報 専門メディア **展示会BIZ**

環境新聞から

環境新聞について

お問い合わせ

媒体資料

サイトのご利用について

特定商取引法に基づく表記

ご利用規約

プライバシーポリシー

サイトマップ

お申し込み

オンライン購読

環境新聞購読のお申し込み

環境関連書籍

環境新聞メールマガジンのお申し込み

環境新聞
The Environmental News

©Copyright2022 Kankyoshimbunsha,Co.,Ltd. All rights reserved.